

2022(令和4)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2022年9月17日(土) 1回目：15時～16時 定員6名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 1回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 10人（内訳：当事者 2名、家族 5名、専門職 3名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

台風14号の影響も心配されましたが4組の家族が参加。13時からの予約が一組と少なかったため、今回は15時からの会にまとめて1回目の会のみ開催としました。家族の声かけを本人が居やがる場合の対応をどうしたら良いのか？という困りごとの相談に、介護を重ねてきたご家族から色々な意見が引き出されました。その時に本人が求めている行動ではなかったのではないかと言葉が上手く出てこない場合…自分の気持ちを表したり伝える事が難しくなる。表情を読んだり、本人が求めている以上の事をしたら逆効果。目から鱗の介護の手法、学びの場です!!

5. 所感

参加家族がこれまでの自分の介護を振り返り…介護する側の“やってあげている”という自己満足は駄目で、何でもやるべきじゃない。本人ができる事はやってもらう等…熱を帯びた熱い話し合いの会となりました。理学療法士の宮里さんが当事者対象にレクや体操をして頂き、テーブル席では家族だけで介護の悩みを追求することが可能となりました。専門職の配慮にも毎回感謝です!! お土産は事務所裏手のみやざと製菓の“はごろもパイ”です。お餅が入ったのもありますよ(^_^)。



以上